

令和6年度(2024年度) 熊本市観光マーケティング戦略 アクションプランシート

基本方針	基本施策	新規 拡充	取組事項	内容	成果・今後の方向性	所管名	令和6年度 (2024年度) 決算額(千円)
1 世界に選ば れる観光都市・ 熊本の創造	1(1)熊本城の魅力の最 大化		熊本城特別公開	熊本城の復旧過程の段階的な公開を目的とした熊本城特別公開の実施	熊本城の歴史や文化財としての価値、復旧状況を多くの方に見ていただいた。 ・令和6年度熊本城入園者数 143万人 引き続き、復旧事業の進捗に合わせた特別公開を実施する。	熊本城総合事務所 総務管理課・復旧整備課	559,484
			武将隊及びひごまる隊の運営	熊本城及び城彩苑を拠点とした、加藤清正などの武将等・ひごまる隊によるおもてなし活動の実施	「熊本城おもてなし武将隊及びひごまる」による定時演武披露等により、熊本城の魅力や観光客の満足度の向上を図った。 ・令和6年度定時演武観客者数 75,332人 引き続き、熊本城を訪れる観光客に向けたおもてなし活動を実施することにより、観光客の満足度やリピーター意欲の向上を図り、更なる誘客の促進を目指す。	観光政策課	60,000
			桜の馬場観光交流施設の運営及び維持管理	熊本城ミュージアムわくわく座等の運営及び維持管理の実施	・令和6年度わくわく座入館者数 282,591人 引き続き、熊本城ミュージアムわくわく座等の効果的な運営及び維持管理を行う。	観光政策課	191,804
			熊本城の看板等の更新	熊本城の復旧状況に合わせた解説板等の設置及び案内誘導看板の更新	復旧状況に合わせ、20枚の解説板・サイン看板を城内に設置し、復旧状況の理解促進と利便性向上を図った。 引き続き、復旧事業の進捗に合わせた解説板等を設置していく。	熊本城総合事務所 総務管理課・復旧整備課	3,905
			お城まつりの開催	春・秋のお城まつりの開催	10月・3月にお城まつりを開催し、熊本城の魅力の周知と向上を図った。 引き続き、お城まつりの開催を通じて熊本城の魅力を発信する。	熊本城総合事務所 総務管理課・復旧整備課	43,321
			ユニークメニューの開発と利用促進	熊本城をはじめとしたユニークメニューの整備と利用の促進	熊本城天守閣や本丸前広場を活用した実証を実施し、次年度からの本格運用に向け、プロモーション素材の収集及び整備を進めた。 今後は、ユニークメニューを利用した際に交付する助成金を創設し、利用拡大を後押しする。	誘致戦略課	17,387
	1(2)世界に誇る水資源 のブランディング		くまもと水ブランド情報発信	水に関する世界最大の国際会議における地下水保全の取組、地下水保全に取り組む企業、団体、ユース世代などが交流し、取組発表を行う「くまもと水フォーラム(仮称)」の開催、くまもと「水」検定の実施	「世界水フォーラム」への出席や「ユース水フォーラムアジア2024」への参加等、熊本地域の地下水保全の取組を国内外へPRした。 くまもと「水」検定の受験者延べ人数は概ね順調に推移しており、令和5年度から熊本市親善大使等によるSNSを活用したPRを実施したところ、県外受験者数が例年の2倍程度になった。 今後も、国際会議などを通じて国内外にくまもと水ブランドの発信を行う。 また、くまもと「水」検定の実施及びユース活動の支援等により、熊本の水の魅力を受け継いでいく地下水保全活動の担い手を育成する。	水保全課	10,252
			植木温泉の観光振興	植木温泉を含めた植木地域の観光振興事業を実施する植木温泉観光旅館組合への事業費補助金交付	植木温泉観光旅館組合が実施するプロモーションやイベント開催などについて補助金の交付を行った。 引き続き、植木温泉における観光振興の支援を行う。	観光政策課	5,044
			食の販路拡大事業	農水産物や加工品の新たな販路を開拓するとともに、民間企業とのマッチング等による、国内外における販路の拡大	フェアや商談会等により、熊本の農水産物や加工品の販路拡大を実施した。 引き続き、熊本の農水産物や加工品の販路拡大を推進するとともに、さらなる魅力向上に取り組む。	農水ブランド戦略室	30,442
			地産地消フェア開催事業	市民と生産者が直接交流できる場として、農水産物・加工品の対面式の販売フェアを開催	販売フェアの開催を通じて、市民が農水産物や花き等に触れる機会を創出し、熊本の食の魅力を発信した。 今後も販売フェアを開催することにより、熊本の農水産物の魅力についての情報発信を行う。	農水ブランド戦略室	5,300

令和6年度(2024年度) 熊本市観光マーケティング戦略 アクションプランシート

基本方針	基本施策	新規 拡充	取組事項	内容	成果・今後の方向性	所管名	令和6年度 (2024年度) 決算額(千円)	
1 世界に選ばれる観光都市・熊本の創造	1(3) 観光資源の魅力創出	新規	福井市との姉妹都市30周年記念式典等の実施	福井市との姉妹都市30周年(調印:平成6年11月6日)を祝う周年記念式典の開催や相互交流事業等の実施	姉妹都市提携30周年に合わせ、両市において、記念式典等を開催した。 引き続き、両市におけるまつり交流等の観光連携や小学生交流事業、スポーツ交流などに取り組む。	観光政策課	3,939	
		拡充	記念館活用関連事業	記念館を保存・活用し、時機に応じたイベントなどを実施することで、地域づくりや教育、観光振興につなげる	小泉八雲熊本旧居のお化け屋敷イベントや、ジェーンズ邸のクリスマスイベントを実施することで、普段、記念館を訪れることの少ない世代の来館があった。 引き続き、近隣施設や地域とも連携したイベントや、記念年にちなんだイベントを通じて、記念館の魅力を発信する。	文化財課	14,272	
		新規	漱石文化振興事業	夏目漱石の記念年(R8、R9)に向けた準備のため、関係機関との連携を深める	漱石を題材としたテレビドラマの放映やシンポジウム開催、関係機関と連携した観光ルートの開発を行うことで熊本の漱石文化を広く発信することができた。 引き続き、関係団体等と連携した様々な取組みの実施や、特集ページのリニューアルなどの観光プロモーションを検討する。	文化財課	10,023	
			サバンナエリア(仮称)の整備	令和7年度以降の工事に向けた実施設計の完了を目指す	サバンナエリア(仮称)の工事に向けた実施設計を行った。 引き続き、実施設計を行うとともに、令和7年度から工事に着手し、令和11年度のリニューアルオープンを目指す。	動植物園	23,100	
			いきもの学習センター内の展示改修	令和7年度以降の工事に向けた実施設計の完了を目指す	いきもの学習センター内の展示改修工事に向けた実施設計が完了した。 令和7年度には展示改修工事を実施し、令和8年度のリニューアルオープンを目指す。	動植物園	21,340	
	1(4) “まち” の魅力の発揮			花畑広場の運営及び維持管理	花畑広場の運営及び維持管理の実施	花畑広場の適切な運営管理によるにぎわい創出に取り組んだ。 引き続き、適切な運営管理を継続するとともに、平日の利活用についても促進していく。	市街地整備課	28,555
				中心市街地におけるまちづくりの推進	中心市街地の価値向上に取り組む地域団体の活動支援、帰宅困難者対策協議会の運営及び避難訓練の実施等	桜町・花畑周辺地区の防災力の向上、イベント実施によるにぎわい創出に取り組んだ。 今後も、避難訓練等を継続する。また、地域価値向上に取り組む団体への支援を行う。	市街地整備課	33,319
				中心市街地の活性化推進	更なる中心市街地の活性化に向けた、くまもと広場ニスト育成スクールの実施、歴史サインの設置及び人流データ等を活用した分析等	くまもと広場ニスト育成スクールの実施、歴史サインの設置、人流データ等による中心市街地の現状分析を行った。 引き続き、育成スクール等による広場等の公共空間に新たな価値を創出するイベントを企画・運営する人材の育成に取り組む。	市街地整備課	44,686
				熊本駅白川口駅前広場等の運営及び維持管理	熊本駅白川口駅前広場等の運営及び維持管理の実施	JR九州との連携によるイベント開催促進、包括管理委託による良質な景観維持に取り組んだ。 引き続き、にぎわい創出の促進と景観の維持に取り組む。	市街地整備課	34,982
				熊本駅新幹線口駅前広場の交通対策	交通渋滞の解消や円滑な歩行や賑わいの創出に向けた熊本駅新幹線口駅前広場の全面改修に係る設計等の実施	熊本駅新幹線口駅前広場再整備計画を策定し、基本・実施設計に着手した。 引き続き、基本・実施設計を実施するとともに、既存施設の撤去工事に着手する。	市街地整備課	30,235
		新規		ARデジタル謎解きスタンプラリー事業	熊本城から中心商店街において、AR等のデジタル技術や謎解き要素を盛り込んだスタンプラリーの実施	約2,000名の方にご参加いただき、商店街の賑わい創出と回遊性向上に一定の成果を発揮することができた。 引き続き、商店街の賑わい創出と回遊性向上を目的とした事業に取り組む。	商業金融課	7,999
		新規		ナイトタイムエコノミー支援事業	商店街団体等が実施するナイトタイムエコノミー推進に繋がる事業への補助	商店街団体等が実施する事業5件に対して、補助金による支援を行った。 今後は、補助メニューを見直し、ナイトタイムエコノミーの推進事業に限らず、商店街の活性化に繋がるイベントや研修事業等の支援に継続して取り組む。	商業金融課	1,670

令和6年度(2024年度) 熊本市観光マーケティング戦略 アクションプランシート

基本方針	基本施策	新規 拡充	取組事項	内容	成果・今後の方向性	所管名	令和6年度 (2024年度) 決算額(千円)
1 世界に選ば れる観光都市・ 熊本の創造	1(4) “まち” の魅力の 発揮	新規	商店街先進事例事業	商店街での先進的な取組みに対する補助	商店街を舞台とした教育的なイベント1件に対して、補助金による支援を行った。 今後は、支援内容を一部見直すとともに、産官学が連携して地域資源の積極的な活用を図る事業に対する支援に継続して取り組む。	商業金融課	147
			商店街魅力アップ事業・研修事業	商店街団体等が実施するイベント事業や研修事業等に対する補助	商店街団体等が実施する事業23件に対して、補助金による支援を行った。 引き続き、商店街の活性化に繋がるイベントや研修事業等の支援に取り組む。	商業金融課	20,488
			中心商店街地区魅力向上事業	中心商店街における音楽などのイベント等の開催	イベントを12回開催し、計約17,500人の集客があった。 引き続き、商店街や実行委員会の関係者と連携しながら、中心市街地の賑わい創出と回遊性向上に取り組む。	商業金融課	4,440
			イベントの開催による賑わいの創出	火の国まつりや江津湖花火大会、熊本城マラソンの開催	安心安全なイベントを開催し、中心市街地や江津湖周辺の賑わいを創出することができた。 今後も、安心安全なイベント開催及び賑わいの創出を継続する。	イベント推進課	250,064
		新規	ナイトタイムエコノミーの推進	熊本ならではの「夜の魅力」の拡大と観光における新たな価値を創出する夜型の観光素材の提供	「秋のくまもとお城まつり」に合わせ、熊本城の夜間景観の魅力を拡大する灯りのイベントや、居酒屋やスナック等を中心とした熊本の夜の魅力を活用した観光コンテンツ造成などを実施した。 今後は、熊本城及びその周辺地域を巻き込んだ灯りのイベントを実施して夜間景観の魅力を拡大することで、更なる誘客と中心市街地への回遊性向上に努める。	観光政策課	43,482
			観光関連施設の管理運営 (くまもと工芸会館、健軍文化ホール、市民会館、熊本市現代美術館)	各施設において、魅力的なイベントや企画、ワークショップ等を実施	くまもと工芸会館：工芸の実演や体験、工芸教室等を実施した。 健軍文化ホール：コンサートや料理教室等を実施した。 熊本市市民会館：コンサートや演劇、ワークショップ等を実施した。 熊本市現代美術館：企画展や映画の上映、ワークショップ等を実施した。 引き続き、様々な事業を企画・実施していく。	文化政策課	543,293
			フィルムコミッションの推進	くまもとシティ・フィルムオフィスとしての国内外の映画・映像作品等の撮影に対する支援及び誘致等	JFC(ジャパン・フィルムコミッション)の総会や研修への参加や、本市におけるロケ支援などを実施した。 引き続き、本市におけるロケ支援や誘致を通じてフィルムコミッションの推進に取り組む。	観光政策課	490

令和6年度(2024年度) 熊本市観光マーケティング戦略 アクションプランシート

基本方針	基本施策	新規 拡充	取組事項	内容	成果・今後の方向性	所管名	令和6年度 (2024年度) 決算額(千円)	
2 訪れる人に 優しい滞在環境 の構築	2(1)質の高い観光情報 の発信		観光案内所の運営	観光案内所(熊本駅、桜の馬場城彩苑)における外国人を含む旅行者に有益な観光情報の提供等の実施	・令和6年度観光案内所利用者数(来所・電話) 熊本駅:55,285人、城彩苑:21,495人 引き続き旅行者への適切な観光案内を実施する。	観光政策課	38,999	
			デジタルサイネージ(観光案内所)による情報発信	観光案内所(熊本駅、桜の馬場城彩苑)におけるデジタルサイネージを活用した情報発信	各観光案内所において、旅行者への情報発信を行った。引き続き、旅行者のニーズに応じた効果的な情報発信に努める。	観光政策課	249	
			観光パンフレットの制作	熊本国際観光コンベンション協会と連携した、多言語対応の観光パンフレット等の制作	年2回の内容更新を実施し、旅行者に最新の観光情報を提供した。引き続き定期的な情報更新を行うとともに、適切な情報発信に努める。	観光政策課	9,363	
		新規	商店街環境整備等	商店街団体等が実施する観光客等を受入れるための環境整備への補助	商店街団体等が実施する事業2件に対して、補助金による支援を行った。引き続き、観光客等を受入れるための環境整備への支援に取り組む。	商業金融課	540	
			観光案内標識の建替え、維持補修	観光客の利便性、回遊性の向上を図るため老朽化した観光案内サインの整備	観光案内サインの改修等を実施した。 ・標柱建替4基、案内サイン補修2件、説明板建替1件 引き続き、観光案内サインの適切な改修等に取り組む。	観光政策課	2,316	
		新規	観光案内標識改修計画の作成	観光案内標識の状況把握および整備計画の検討	観光案内サインの調査点検を実施した。引き続き、観光案内サイン全体の状況調査による適正な配置や改修等に取り組む。	観光政策課	4,378	
			デジタルサイネージ(電停)による情報発信	デジタルサイネージが設置されている電停(計10箇所)における、外国人を含む旅行者への有益な観光情報等の提供	電停に設置しているデジタルサイネージにて、外国人含む旅行者への有益な観光情報等を提供した。引き続き、有益な観光情報等の提供に努める。	交通局	3,426	
			市内多言語化支援	国際交流員等による観光案内文書等の多言語化支援(翻訳、ネイティブチェックなど)	パンフレットやイベントチラシ、HP等の翻訳を実施した。引き続き、観光案内文書等について多言語支援を行う。	国際課	18,766	
			観光ウェブサイトの運営	観光ウェブサイトにおける情報発信や様々なジャンル、テーマによる熊本観光の提案	夜間イベント特集などを制作し、旅行者に最新の観光情報を提供した。引き続き観光スポットやイベント情報などを随時更新し、有用な情報の発信に努める。	観光政策課	7,600	
		新規	水前寺・植木温泉エリアにおける情報発信・受入体制強化	水前寺エリア(湧水亭)における肥後細川文化の体験・情報発信および観光案内ガイドの実施 植木温泉エリアにおける面的DX化	・令和6年度湧水亭利用者数 25,793人 ・植木温泉公式LINEの友達数 878人 引き続き、湧水亭利用者や植木温泉公式LINE登録者の増加を図るとともに、適切な情報発信を行う。	観光政策課	10,377	
			地域通訳案内士(中国語ガイド)の研修等	新たな人材発掘やガイドの確保及び外国人観光客の満足度向上を図るための、熊本市地域通訳案内士の認定及び研修の実施	熊本市地域通訳案内士(英語・中国語)の育成により、観光客の受入環境の整備を図った。 ・登録者数 27名(英語15名、中国語12名) 今後は、地域通訳案内士の活用や充実に向けたフォローアップに取り組む。	観光政策課	2,300	
			観光案内ガイドの実施	熊本国際観光コンベンション協会と連携した、主要観光スポット(熊本城、熊本駅など)における観光案内ガイドの実施	・令和6年度熊本城常駐ガイド利用者数 8,755人 ・令和6年度修学旅行ガイド利用者数:10,103人 引き続き、観光案内ガイドを実施するとともに、夏季における熱中症対策として、観光案内ガイドの適切な実施時間に関する検討を行う。	観光政策課	6,184	
			2(2)目的地までの移動 の円滑化	九州MaaSの推進	九州版MaaSアプリの導入に向けて、県全体での実行組織に参画し、熊本のMaaS取組を推進する。	熊本県と共同で、熊本県MaaS推進協議会を設立。今後は、熊本県MaaS推進協議会を中心に関係者と協議し、MaaSの推進を図る。	交通企画課	0
			グリーンスローモビリティの運行	導入検討に向け、中心市街地エリアでの実証実験を実施。	上通エリアは、60日間で502人(8.4人/日)、下通・新市街エリアは、61日間で416人(6.8人/日)の利用があった。 過去実施の熊本城エリア(10日間〔くまもと花博開催期間〕で2,018人(201.8人/日)の利用)と比較し利用が少なかった。 今後は、一定の需要が確認できた熊本城エリアを中心に、ニーズを捉えたルートや運行頻度等を検討する。	地域交通支援課	2,753	

令和6年度(2024年度) 熊本市観光マーケティング戦略 アクションプランシート

基本方針	基本施策	新規 拡充	取組事項	内容	成果・今後の方向性	所管名	令和6年度 (2024年度) 決算額(千円)	
2 訪れる人に 優しい滞在環境 の構築	2(2)目的地までの移動 の円滑化		熊本城無料シャトルバスの運行 (通常便)	桜の馬場城彩苑から熊本城二の丸広場への無料シャトル バスの運行	令和6年7月より、城彩苑～行幸坂～二の丸駐車場の往復 運行のルートを変更した結果、利用者数が大幅に増加し た。 ・令和6年度通常便利用者数 152,989人 引き続き、無料シャトルバスの運行による観光客の利便 性向上を図る。	観光政策課	19,245	
			熊本城無料シャトルバス運行 (臨時便)	熊本城無料シャトルバスの運行について、旅行シーズン 等における増便の実施	熊本城特別公開に伴い、観光客が増加する時期に合わせ て無料シャトルバスを臨時増便した。 ・令和6年度臨時便利用者数 25,715人 引き続き、無料シャトルバスの運行による観光客の利便 性向上を図る。	観光政策課	4,638	
			超低床多両編成車両の導入	市電の輸送力向上のため、現行車両における平均定員の 約1.5倍の定員設計である超低床多両編成車両を導入	現行車両における平均定員の約1.5倍の定員設計である 超低床多両編成車両を2編成導入した。 令和7年度も同形の車両を2編成導入予定。	交通局	890,004	
	2(3)快適で安心・安全 な滞在環境の構築			しろめぐりん・熊本市電でのWi- Fiサービス提供	熊本城周遊バス「しろめぐりん」及び熊本市電における 無料Wi-Fiサービスの提供	しろめぐりん及び熊本市電におけるWi-Fiサービスを提供 した。 引き続き、Wi-Fi環境の整備に努める。	観光政策課	8,468
				バリアフリー推進	建築物や道路等の連続性を確保した面的、一体的なバリ アフリー化を図るため、施設ごとの具体的な事業策定に 向けた検討・協議等を実施。 また、高齢者等がバス停で待機しやすいようバス停ベン チの設置	・令和6年度末時点におけるバス停ベンチの設置 81基 引き続きバスの待合環境の改善に努める。	公共交通推進課	9,566
				観光施設の維持管理	観光施設(峠の茶屋公園資料館、観光施設公衆トイレ 等)の適正な維持管理	峠の茶屋公園資料館や観光施設公衆トイレ等の維持管理 や清掃等を行った。 引き続き、観光施設の適正管理による観光客の満足度向 上に努める。	観光政策課	8,219
				ウォーカブル都市の推進	(仮称)熊本市中心市街地ウォーカブル推進計画の策定 及び昼も夜も歩いて楽しめる都市空間の創出に向けた、 中心市街地の歩行者空間化の検討等	「居心地のいい歩いて楽しめるまちなか未来図(熊本市 中心市街地ウォーカブルビジョン)」を策定した。 今後は、昼も夜も歩いて楽しめる都市空間の創出に向け たウォーカブル関連施策の検討等を行う。	市街地整備課	18,927
				【再掲】熊本駅白川口駅前広場 等の運営及び維持管理	熊本駅白川口駅前広場等の運営及び維持管理の実施	JR九州との連携によるイベント開催促進、包括管理委託 による良質な景観維持に取り組んだ。 引き続き、にぎわい創出の促進と景観の維持に取り組 む。	市街地整備課	34,982
				【再掲】熊本駅新幹線口駅前広 場の交通対策	交通渋滞の解消や円滑な歩行や賑わいの創出に向けた熊 本駅新幹線口駅前広場の全面改修に係る設計等の実施	熊本駅新幹線口駅前広場再整備計画を策定し、基本・実 施設計に着手した。 引き続き、基本・実施設計を実施するとともに、既存施 設の撤去工事に着手する。	市街地整備課	30,235
		新規		食の多様性に関するセミナーの 開催	ヴィーガン、ベジタリアン等の多様な食文化を有する旅 行者に対応できる飲食店・宿泊施設等の充実を図るた め、食の多様性に対応するためのセミナー(座学、実 演)及びメニュー開発支援の実施	食の多様性に関するセミナーやメニュー開発支援を行 い、観光客の受入環境整備を図った。 引き続き、多様な食文化への理解や対応店舗等の充実 に向けて取り組む。	観光政策課	3,697
新規			桜の馬場観光交流施設駐車場の キャッシュレス化	駐車場精算機のキャッシュレス決済の実施	桜の馬場観光交流施設駐車場においてキャッシュレス決 済を導入した。 引き続き、キャッシュレス決済を実施し、利用者の利便 性確保に努める。	観光政策課	2,000	
			客引き行為等対策事業	熊本市客引き行為等の禁止に関する条例に基づき、客引 き行為等禁止地区において、違反行為対策を行う	熊本市客引き行為等対策巡回指導員による違反行為対策 を実施した。 ・注意喚起134件 ・指導37件 ・警告2件 引き続き、県警との連携強化を図り、情報共有や繁華街 における「客引き行為等」の対策に特化した合同パト ロールなどを実施するとともに、指導等を通じ違反者対 策に取り組む。	生活安全課	24,827	

令和6年度(2024年度) 熊本市観光マーケティング戦略 アクションプランシート

基本方針	基本施策	新規 拡充	取組事項	内容	成果・今後の方向性	所管名	令和6年度 (2024年度) 決算額(千円)
3 強みをいかした戦略的な誘客促進	3(1)市場調査に基づく施策の検討・検証		観光客動向調査の実施	熊本国際観光コンベンション協会と連携した、主要観光スポットにおける来訪者の観光満足度調査の実施	観光アンケートの設置箇所を増設したことにより、回答数が大幅に増加した。引き続き、設置箇所・回答数の増加を目指すとともに、調査結果の分析・活用についても強化を図る。	観光政策課	656
			観光振興推進協議会の運営	熊本市観光マーケティング戦略の評価・検証、戦略に基づく実施事業の審議	「熊本市観光マーケティング戦略」に基づく各種取組の評価・検証や戦略の進捗管理を行うため、熊本市観光振興推進協議会における検討を行った。引き続き、協議会を通じた戦略の進行管理を進める。	観光政策課	320
			上海事務所における観光誘致・ビジネス支援等	熊本上海事務所を拠点に、観光客誘致・ビジネス支援等を県・市が連携して取り組み、熊本のPR及び地場企業の販路拡大の支援	中国国内の旅行博への出展による観光PRの実施、投資商談会等での試飲・試食によるテストマーケティングを実施した。引き続き、観光PRを継続するとともに、販路拡大に取り組む。	経済政策課	19,414
			海外都市への職員派遣	一般財団法人自治体国際化協会を通じて海外都市に職員を派遣し、海外との交流促進や国際情報収集、関係機関とのネットワークの構築、並びに人材育成の実施	現地ネットワークを活かした情報収集、各種イベント、プロモーション活動への従事、関係機関との密な連携協力を実施した。引き続き、連携協力を実施する予定。	国際課	30,876
		新規	観光戦略の検討・検証のためのマーケットリサーチ	人流データ等を活用した観光客の動向の調査・分析等の実施	観光施策の評価・検証を行うため、人流データ等を活用したマーケットリサーチを行った。引き続き、観光関連データに基づく施策の検証、検討を進める。	観光政策課	5,489
			関係各所とリサーチ情報等の共有	マーケットリサーチ等で得られたデータや他局調査業務等により得られたデータの全庁共有の推進	庁内保有データの所在を整理するとともに、容易に所在を検索できるシートを作成した。引き続き、共有データを拡充するとともに、庁内データ共有の効率化を目的としたデータ活用基盤の構築を進める。	データ戦略課	0
	3(2)戦略的なプロモーション	新規	SNS等を活用したプロモーション	Instagram等のSNSを活用した観光客誘致、周遊・滞在促進、宿泊、消費につながるプロモーションの実施	SNSを活用した観光誘客プロモーションや、メディアキャラバン、デジタルサイネージを活用したプロモーション等を実施した。引き続き、SNSの充実やインフルエンサー等を活用した広報、デジタルサイネージを活用したプロモーション等により、本市へのさらなる誘客を図る。	観光政策課	11,386
			熊本国際観光コンベンション協会によるプロモーション	熊本国際観光コンベンション協会と連携した、国内外からの誘客及び修学旅行の誘致	旅行会社への誘致活動や、教育旅行に関する助成などを行った。引き続き、商談会への参加や情報発信を行い、熊本への誘客を促進する。	観光政策課	17,623
			国内市場におけるプロモーション	国内市場における認知度及び誘客を図るための、熊本城おもてなし武将隊及びひごまるを活用した誘客プロモーションや、「名古屋市・熊本市観光交流都市連携協定」に基づく相互交流事業などの実施	熊本城おもてなし武将隊及びひごまるを活用した誘客プロモーションや九州内メディアキャラバン、名古屋まつり(R6.10月)、火の国まつり(R6.8月)におけるプロモーションなどを実施した。引き続き、誘客やプロモーションに取り組む。	観光政策課	7,327
			友好姉妹都市等との交流を活用した海外プロモーション	友好姉妹都市等との交流、海外出張等の機会などを活用し、SNSによるプロモーション、現地での熊本市の観光PRなどを実施	中国・桂林市訪問時、市長から現地大学生への熊本市紹介や、交流イベントにおけるブース出展等を実施した。引き続き、様々な機会を活用したPRに取り組む。	国際課	27,247
			海外市場におけるプロモーション	海外市場(欧米豪、アジア圏など)における認知度及び誘客を図るためのプロモーションや情報発信、西のゴールデンルートアライアンス参加自治体と連携した旅マエ、旅ナカプロモーションの実施	西日本・九州の各市と連携した「西のゴールデンルート」において、欧米豪市場からの誘客を図るとともに、県内や九州各都市と連携した誘客プロモーション、SNSを活用した情報発信事業、香港やアメリカ市場で実施する食と観光の魅力発信事業などを実施した。引き続き、県内外の自治体と連携しながら、スケールメリットを活かしたプロモーションを展開し、九州熊本の認知度向上や誘客に取り組む。	観光政策課	29,606
			台湾市場におけるプロモーション	台湾市場における認知度獲得及び誘客を図るための、現地旅行博出展や旅行会社との商談、Instagram(繁体字)による情報発信や観光レップの活用	台北市及び高雄市で開催される旅行展への出展やSNSを活用した情報発信を通じて、本市の認知度向上や誘客に向けたプロモーション等を実施した。引き続き、旅行展への継続した出展やSNSを活用した情報発信を通じて、本市のさらなる認知度向上や誘客につなげる。	観光政策課	11,501

令和6年度(2024年度) 熊本市観光マーケティング戦略 アクションプランシート

基本方針	基本施策	新規 拡充	取組事項	内容	成果・今後の方向性	所管名	令和6年度 (2024年度) 決算額(千円)
3 強みをいかした戦略的な誘客促進	3(2)戦略的なプロモーション		協議会等による広域周遊観光の推進	九州内主要都市と連携した広域観光プロモーション等を行うための各協議会への負担金の拠出	九州新幹線沿線都市との連携「九州縦断観光ルート協議会」をはじめ、県内外との連携により、スケールメリットを活かした観光プロモーションを実施した。引き続き、九州内主要都市と連携した広域観光PRや、国際大会イベントを契機とした誘客等を行う。	観光政策課	14,280
	3(3)熊本ならではのMICEの推進		MICE誘致活動	MICE誘致戦略に基づく、国内外の誘致ターゲットに対する誘致活動の実施	第2期熊本市MICE誘致戦略に基づく重点ターゲットへの誘致を推進。令和6年度のコンベンション参加者数は約16万人に達し、コロナ前を大幅に上回る水準となった。今後は、GDSアワード受賞による国際的評価をいかして国際会議の誘致プロモーションを強化しつつ、半導体・医学・防災など本市の強みを軸にコンベンションの誘致を推進し、更なる賑わいの創出と地域経済の活性化を図る。	誘致戦略課	34,237
			コンベンション主催者への助成	コンベンション主催者の負担軽減のための助成金の交付	複数の助成メニューにより計120件の交付を実施した。今後は、助成制度の効果検証を踏まえ、メニューの再構築等を予定している。	誘致戦略課	29,170
			バドミントン国際大会の開催	熊本マスタースジャパン(バドミントン国際大会)の開催	日本バドミントン協会や熊本県バドミントン協会、熊本県等と連携し、熊本マスタースジャパンを開催した。会場となった熊本県立総合体育館には、県内はもとより全国から19,075人の方が来場された。今後は、大会において課題となった点を洗い出し、より良い運営体制を構築すると共に、2025年大会開催に向け、スポーツ振興、経済効果がさらに高まるよう熊本県や関係団体と連携し準備を行う。	スポーツ振興課	50,000
		新規	スポーツ交流事業(ハイデルベルク市)	ハイデルベルク市との協定に基づくスポーツ交流事業の実施	15名の中学生を派遣しスポーツ(サッカー)交流やホームステイによる生活体験など、異文化に対する理解を深め、広い国際的視野を身に付けることができた。今後は、ハイデルベルク市から交流団を受入れ、スポーツ(サッカー)交流に加え熊本らしさを感じられる体験等ができるよう協議する。	スポーツ振興課	10,182
		新規	熊本県民体育祭関係事業	熊本県民体育祭(令和7年度開催)へ向けた段階的な準備等の実施及び開催	「第80回熊本県民体育祭熊本市大会」(令和7年9月)の開催準備のため準備委員会を設立し負担金交付を行った。今後は、各競技団体及び関係機関と密に連携を行い、円滑な大会運営及び成功に向けた準備を行う。	スポーツ振興課	15,000
		3(4)熊本ファンと一体となった誘客促進		首都圏プロモーション経費	首都圏において、効果的かつ切れ目のないプロモーションを展開するとともに、首都圏から熊本市を応援する組織「TOKYO BASE 096」を中心に、首都圏におけるネットワーク構築や情報発信等に取り組む。	本市の魅力(春スイカをはじめとした農水産物等)を発信するイベントを実施するとともに、首都圏から熊本市を応援する組織「TOKYO BASE 096」のネットワークを強化するための交流会等を開催した。 ・TOKYO BASE 096会員数 474人 SNSフォロワー数 7,249人(2025年3月末) 引き続き、本市の農水産物・歴史文化の魅力等を効果的に発信するとともに、「TOKYO BASE 096」の会員増加やSNSの発信力強化を図り、さらなる関係人口の増加を目指す。	東京事務所
			ふるさと納税の推進	熊本ファン(寄附者)の獲得につなげるため、返礼品の拡充等を通じたふるさと納税を推進	返礼品の拡充や大手ポータルサイトの追加、各種PR等を行った結果、令和6年度のふるさと納税額は約11億7千万円となり、寄附額は年々伸びている。引き続き、本市の人気返礼品である牛肉や馬肉、フルーツ等の安定確保に努めるとともに、本市ならではの体験型返礼品の充実を図ることで寄附の増加及び関係・交流人口の拡大につなげる。また、地元生産者・事業者と連携して首都圏プロモーションを実施し、熊本の魅力発信につなげていく。	広報課	541,323

令和6年度(2024年度) 熊本市観光マーケティング戦略 アクションプランシート

基本方針	基本施策	新規 拡充	取組事項	内容	成果・今後の方向性	所管名	令和6年度 (2024年度) 決算額(千円)
4 観光振興を通じた熊本市の活性化	4(1)観光産業の経営基盤強化		しごと学びWEBライブ事業	熊本連携中枢都市圏内の小中学生に対する地場企業や地域産業を学ぶキャリア育成支援の実施	将来における人材定着及び地場企業への就職を促進することを目的に、小中学生を対象に、地場企業を知り社会構造を学ぶためのオンライン授業を実施した。 ・参加企業数 43社 ・参加小中学校 50校 ・参加児童生徒数 3,855人 引き続き、教育委員会と連携し小中学校の更なる参加促進を図っていく。	雇用対策課	11,999
			合同就職説明会開催経費	熊本連携中枢都市圏内の地場企業の合同就職説明会開催に要する経費	地場企業の人材確保及び求職者の早期就職を促進するために、企業と求職者との合同就職説明会を開催した。また、県外からの移住・就業を促すため、合同就職説明会と開催時期を合わせた移住体験ツアーを実施した。 (合同就職説明会) ・年間開催回数 5回 ・参加企業 253社 ・参加求職者数 1,212人 (移住ツアー 10月13日-10月14日) ・参加者数 38人 引き続き、企業と求職者の出会いの場として合同就職説明会を開催する。	雇用対策課	27,833
			地場企業インターンシップ促進事業	大学生等を対象とした熊本連携中枢都市圏内の地場企業へのインターンシップマッチング会開催等に要する経費	将来的な本市への人材還流及び人材確保を図るため、県内外大学生等を対象とした地場企業のインターンシップを実施した。 (インターンシップ) ・参加企業数 56社 ・参加者数 144人 (地場企業と大学生等との意見交換会) ・参加企業数 89社 ・参加者数 515人 今後は、地場企業におけるインターンシップの普及及び自走化を促進するため、企業向けにインターンシッププログラム作成支援セミナーを開催する。また、地場企業と大学生等との接点を構築することを目的として、インターンシップマッチング会を実施する。	雇用対策課	30,586
		拡充	地域スタートアップ等支援事業	スタートアップ等の成長段階に応じた伴走型支援やグローバル展開の支援等を実施	成長段階に応じた支援のほか、国際ビジネスイベントの開催などグローバル展開に向けた支援を実施した。 引き続き、成長段階に応じた支援を実施する。	起業・新産業支援課	45,223
			成長産業創出支援事業	大学などの研究機関の研究シーズと企業の事業化ニーズとのマッチング促進や、中小企業者等が実施する新製品・新技術の研究開発を助成	・マッチングイベント開催回数 4回 ・新製品・新技術研究開発助成事業採択件数 4件 引き続き、成長産業の創出に向けた支援を実施する。	起業・新産業支援課	15,232
			観光業界で求められる人材育成	総合ビジネス専門学校において、観光業界で求められる専門的知識、語学習得のための履修科目を通じた人材育成の実施	地域の観光資源や語学等に関する選択科目を多数開講し、観光サービスについての知識と技能を有する人材育成に取り組んだ。 引き続き、観光分野に関する選択科目を充実させ、観光業界に資する人材育成を図る。	教育委員会事務局指導課	0
			観光分野に関する探究活動の推進	市立高等学校において、企業・市役所との連携を深め、総合的な探究の時間や課題研究の授業における観光分野に関する探究活動の推進	総合的な探究の時間において複数の生徒が観光分野に関する内容を探究テーマとして設定し、企業や市役所職員等からの助言も参考としながら、課題の整理やアイデア創出に取り組んだ。 引き続き、企業・市役所との連携と観光分野に関する探究活動を推進する。	教育委員会事務局指導課	0
		新規	高付加価値旅行者向けホテル誘致の検討	高付加価値旅行者向けホテル誘致検討のための、市場調査、事業者ヒアリングの実施	高付加価値旅行者をターゲットとしたホテル誘致の可能性等の調査を実施した。 今後は当該ホテルの誘致に向けた高付加価値な観光コンテンツの造成等に取り組む。	観光政策課	4,950

令和6年度(2024年度) 熊本市観光マーケティング戦略 アクションプランシート

基本方針	基本施策	新規 拡充	取組事項	内容	成果・今後の方向性	所管名	令和6年度 (2024年度) 決算額(千円)
4 観光振興を通じた熊本市の活性化	4(2)持続可能な観光まちづくりの推進	新規	持続可能な観光の推進	本市の歴史や文化、自然等の魅力発信及び保全への理解促進を図るための動画コンテンツ等の制作、観光サイトへの掲載による情報発信等	レスポンスブルツーリズムの推進に係る動画制作などを実施した。今後は、様々な媒体を活用し、旅行者や市民へのレスポンスブルツーリズムの理解促進を図る。	観光政策課	1,546
			国際関係ボランティアの活用	熊本市国際交流会館を拠点とした国際関係ボランティア活動の推進による、市民と旅行者の交流機会の創出、相互理解の促進	・国際関係ボランティア活動の延べ実績 5,229人 引き続き、様々な分野でのボランティア活動を促進する。	国際課	165,189
			歴史まちづくり事業	町屋等の歴史的建造物の保存・活用の支援や、唐人町通りの道路空間の整備、民有地の活用誘導など、重点区域における地域の活性化や観光振興を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町屋等利活用マッチング支援事業では、重点区域の城下町地区、川尻地区で実証実験を開催した。川尻においては「川尻蔵前通り祭」と同時開催することで約2,000名の来場者があった。今後は、地域の賑わい創出に資する用途(店舗、交流施設等)に利活用する「モデル町屋」を選定し、必要な初期費用の一部を補助していくとともに、地元まちづくり団体(歴まち支援法人)等と行政が連携し町屋等利活用の継続的なマッチング支援を行っていく。</li> <li>・古町の一町一寺の魅力発信するため、西光寺にて夜間景観実証実験を実施。ライトアップで使用する竹あかり製作のワークショップを実施し、約80名が参加した。引き続き、まちづくり活動に合わせた照明演出の支援等により、地域資源の魅力創出や周辺空間の活用を促す。</li> <li>・唐人町通りの道路空間整備事業では、明八橋から唐人町通りにつながる市道の工事が完了した。春にはお花見や明八橋のライトアップイベントで道路空間を活用した賑わいが生まれた。今後は、唐人町通り本線の工事に着手し、安全で歴史的景観に調和した地域が活用しやすい道路空間への整備を実施する。</li> </ul>	都市デザイン課	38,608